

全国高校駅伝 代表校出そろう

男子：鎮西学院

九州で過去最高の2位

女子：諫早

3年ぶりの入賞に挑戦

男子第75回、女子第36回
 全国高校駅伝大会(12月22日・たけびしスタジアム京都発着)に出場する都道府県代表各47校と地区代表各11校が24日までに出そろった。長崎県勢は男子の鎮西学院が2年連続17度目、女子の諫早が6年連続30度目の都大路に挑む。

男子の佐久長聖(長野)は27年連続27度目、V2を目指す女子の神村学園(鹿児島)は9年連続31度目の出場。男子の金定農(秋田)は56年ぶりに都大路でたすきをつなぐ。初出場は男子3、女子7校。九州勢は男子の鹿児島工が鹿児島1位で、女子の自由ヶ丘(福岡)と鹿児島が地区大会で出場

2位入賞。今大会の出場58校中で12番手となる2時間6分24秒をマークした。本番で23年間破られていない県高校記録(2時間5分36秒)を更新しての入賞に照準を合わせる。3年ぶりの入賞を狙う諫早の県大会の記録は1時間11分23秒。出場58校中29番目につけていく。

昨年、大会記録を更新した(宮崎)で過去最高の鎮西学院は17日の全九州大会(宮崎)で過去最高の

権を得た。(城知哲)